

政策評価書（要旨） （事後の事業評価）

事業名	新中対戦車誘導弾（XATM-6）の研究	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理（研究開発）	実施時期	平成17年10月～18年3月

<b>事業の内容</b> 中距離域の対装甲戦闘において敵戦車等を撃破するために必要な、誘導弾及び目標標定装置等の機能・性能の向上の研究、並びに飛しょう体の小型軽量化及び低価格化に関する研究を実施した。	11	12	13	14	15	16	完了年度
	←————— 研究試作 —————→ ←----- 所内試験 -----→						15年度
							研究経費 約43億円

評価の内容

事業の目的

中距離域の対装甲戦闘において敵戦車等を撃破するために使用する新中対戦車誘導弾に関する技術資料を得ることを目的とした。

達成状況

達成効果  
 機能・性能の向上等に関する以下の技術資料を得た。  
 ア 射ち放し技術  
 イ 多目標標定技術  
 ウ 小型・高威力弾頭技術  
 エ 飛しょう体等の小型軽量化及び低価格化

達成時期

平成12年度より研究試作に着手し、平成13年度から所内試験を実施し、平成15年度に終了した。

教訓等事項

本研究においては、目標標定装置等の能力向上による将来の対装甲戦闘能力の向上、並びに構造の簡素化及び民生部品の活用等による誘導弾の小型軽量化及び低価格化等について見通しを得るなど多くの成果が得られた。今後の将来装備品の開発において、これらの成果を積極的に活用する。

今後の対応

87式対戦車誘導弾等の後継として、平成16年度に開発着手した、ゲリラ・コマンドウ部隊による攻撃等の多様な事態において敵部隊等を撃破を目的とした中距離多目的誘導弾に、本研究の成果を反映していく。

その他の参考情報

--